

きくかんもんだより



第71号 令和4年5月21日発行
 発行責任者：富田 公弘
 菊鹿支所Tel：(0968) 48-3121



JAは今日まで農家組合員の営農と生活の向上、地域農業の振興などを目的として多様な事業展開を行ってきました。
 しかしながら「政府による農業政策の見直し・農業者の高齢化・担い手不足・耕作放棄地の増加」など、わたしたち(農業・地域・JA)をとりまく情勢は依然として厳しく、さらに改正農協法の施行に伴う「農協改革」を政府により求められています。
 これらの情勢や課題を踏まえ、JA熊本では3つの基本目標(「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」)の実現に向けた「創造的自己改革」を進めてまいります。
 本紙には自己改革に関する内容記事について「自己改革マーク」を掲載しています。

日中もだんだん暑くなってきた朝と夜の寒暖差が大きいです。皆さんいかがお過ごしでしょうか。農繁期になりますので、体調には十分気を付けて作業されてください。

新メンバー紹介

菊鹿支所



菊鹿支所長
富田 公弘



金融保全係
上妻 美由紀

菊鹿営農センター



大村 聖

菊鹿選果場



守川 和好



金融共済係
高田 絵莉香
(新入職員)

よろしくお願ひします!

莓部会現地検討会の実施

4月13日(水)に本田支部長の園場にて、令和4年度の育苗について話がありました。



採種部会総会の実施

5月19日(木)に菊鹿支所2階会議室にて組合長・部会役員・関係者出席のもと、役員改選や令和4年度の予算などについて審議し承認されました。また、種子の乾燥・保管貯蔵のし方についても説明がありました。



イチゴ収穫体験・ジャム作り体験

5月14日(土)にくらしの活動の一環で菊鹿女幹部、莓部会、職員で小学生と保護者を対象としたイチゴの収穫と、ジャム作り体験を行いました。イチゴの収穫の際には、箱いっぱいイチゴを入れても箱が足りなくなるほどたくさんイチゴを収穫させていただきました。とてもきれいなイチゴばかりでした。園場を提供していただいた眞弓さん、お忙しい中大変ありがとうございました。今後もこのような活動をたくさん行っていけたらと考えています。



～イチゴジャムの作り方～

- ①ヘタを取ったイチゴを鍋に入れ砂糖を加える。時々混ぜながら、砂糖が溶けるまで火にかける。(40分程度)
- ②砂糖が溶けてきたらふたをし、30分程弱火で煮詰めアクが出たらすくいとる。
- ③とろみが出てきたらコンロからおろし、レモン果汁を少し加え冷ます。冷ましたらビンなどに入れて保存する。

★材料★

・イチゴ…300g ・砂糖…60g ・レモン果汁…少々



農機・自動車大展示会のお知らせ

日時：5月27日(金)9時～17時
 28日(土)9時～16時
 場所：鹿本広域中央カントリー、駐車場(薄大地館横)



給油所よりお知らせ

◎タイヤ・オイルキャンペーン
 5月31日(火)まで

◎ワイパーキャンペーン
 6月～7月末まで
 ※Uクリア70タイプのワイパーが860円から750円に値下げ



・担当者から一言・
 今年度より新しく広報担当となりました徳文です。私の他にも3名のサブ担当があります。取材の際にはどうぞよろしくお願いいたします。